

日本版NIH

医療分野の司令塔になれるか

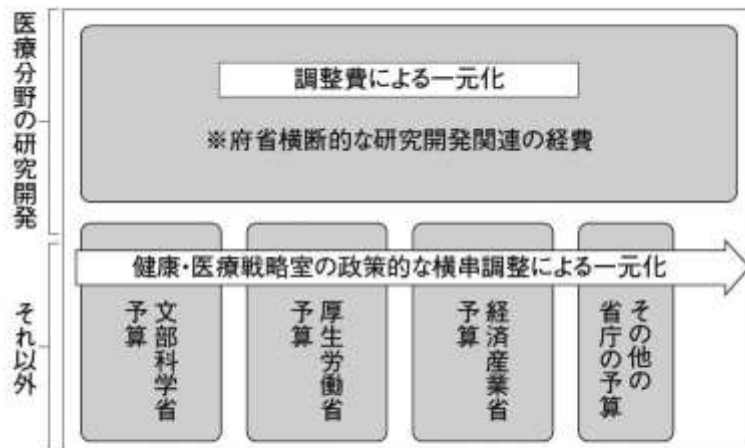
日本版NIHとは、2013年6月に閣議決定された「日本再興戦略」に、医療分野の研究開発の司令塔的役割を果たすべく創設することが盛り込まれた組織です。米国立衛生研究所（National Institutes of Health、略称NIH）を模して作られようとしているので、日本版NIHと呼ばれています。

本家の米国立衛生研究所は、1887年創立の米国最古の医学研究拠点で、20の研究所と7つのセンターを擁する巨大組織です。300億ドル超の予算の半分以上を研究プロジェクトの助成に投じ、米国が医療分野で世界をリードするのに大きな役割を果たしています。

日本でもNIHのような組織を設立し、医薬品や医療機器分野での開発体制を整えようとする動きはありましたが、省庁の縦割り行政に阻まれてきました。

「日本再興戦略」では、革新的な医療技術の実用化を加速するため、医療分野の研究開発の司令塔機能（日本版NIH）を創設するとし、①司令塔の本部として内閣に推進本部を設置する、②一元的な研究管理の実務を行う独立行政法人を創設する、とうたっています。ただ、米NIHが独自予算と研究機関を持つのに対して、日本版NIHは大学や研究機関への予算配分や研究の進行管理を行うにとどまるため、ただの予算配分機関に終わるのではないかという危惧の声もあがっています。

健康・医療関連予算一元化のイメージ



出所：第7回産業競争力会議（2013年4月23日）内閣官房長官 菅義偉氏提出資料（「日本版NIH」の骨子及び「一般社団法人MEJ（Medical Excellence Japan）」の骨子）